

◆佐渡金銀山の情報をお伝えします



佐渡金銀山だより

Sado Gold and Silver Mine Newsletter

新潟県・イオン包括連携協定締結2周年企画

「新潟フェア」開催!



Vol.8
2013.9.30

県・佐渡市とイオンリテール(株)は、6月29日(土)、イオンモール新潟南での新潟県・イオン包括連携協定締結2周年企画「新潟フェア」で、小学生などを対象に砂金採り・金塊つかみ取りなどのイベントを行い、多くの子どもたちが砂金探しや、大きな金塊(レプリカ)に触れたりして歓声を上げていました。



Sado Gold and Silver Mine Newsletter

第8号 INDEX

- 2~3... ▶ 第11回 佐渡金銀山 世界文化遺産学術委員会・海外専門家視察
▶ 現地見学会 直江津港発着「佐渡金山の近代化遺産と相川京町通りを散策する日帰りツアー」を開催
▶ 第37回ユネスコ世界遺産委員会に県の担当者がオブザーバー参加
- 4 ▶ 「自由民主党新潟県選出国會議員連盟」設立
▶ 「親子で歩く佐渡金銀山(相川編)」を開催しました
▶ 佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた決議を行うー新潟商工会議所
- 5 ▶ 世界遺産座談会
▶ 「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」案内解説板設置
- 6 ▶ 講演会〈東京〉〈上越〉
- 7 ▶ 世界遺産連続講座〈新潟会場〉〈佐渡会場〉
▶ 台湾での国際会議に参加して
- 8 ▶ 今後のイベント情報

第11回 佐渡金銀山 世界文化遺産学術委員会

世界遺産登録のための推薦書案を検討している学術委員会では、平成26年3月に推薦書の素案を文化庁に提出することを目標に、今年度から推薦書の作成作業に取りかかっています。平成25年7月13日(土)・14日(日)の両日に東京都の都道府県会館において開催された第11回学術委員会では、ICOMOS副委員長である中国の郭旃(グオ・チャン)氏と韓国ICOMOS委員長の李惠恩(イ・ヘウン)氏を迎え、コンセプト、構成資産、比較研究などについて活発な議論が行われました。両氏は佐渡金銀山の価値を高く評価した上で、コンセプトを確定していくためには比較研究が重要であること、保存管理計画について短期のものだけではなく長期的な展望に立った計画を作成することが重要であることなどを指摘されました。

これらの指摘を踏まえ、今年11月に開催予定の次回学術委員会では、さらに完成度の高い推薦書の作成に向け、コンセプトや構成資産、保存管理計画の具体的な内容について議論していく予定です。



現 地 見学会

直江津港発着「佐渡金山の近代化遺産と相川京町通りを散策する日帰りツアー」を開催

平成25年7月20日(土)、直江津港発着「佐渡金山の近代化遺産と相川京町通りを散策する日帰りツアー」を開催しました。

上越地域からの参加者40名が、近代化遺産である大立堅坑などを見学し、情緒ある町並みを残す京町通りを初々しい地元中学生ガイドの案内で散策するとともに、東洋一の規模を誇った北沢浮遊選鉱場跡を背景に「佐渡國・草の会」による伝統芸能“やわらぎ”を鑑賞しました。

今後も多くの方から世界遺産候補の佐渡金山の魅力に触れていただけるよう、10月26日(土)に新潟港発着現地見学ツアーを実施する予定です。ツアーの詳細については新潟県の世界遺産登録推進室ホームページに掲載しています。



海外 専門家 視察

7月10日(木)から12日(金)の3日間、国際記念物遺跡会議(ICOMOS)副委員長である中国の郭旃(グオ・チャン)氏と韓国ICOMOS委員長の李恵恩(イ・ヘウン)氏が佐渡金銀山を視察しました。お二人とも佐渡を訪問するのは初めてということで、各地域に残る遺跡や建造物、町並みなどについて熱心に視察され、文化財保護の観点から遺跡や建造物の保存管理などについて様々なアドバイスをいただきました。

また、視察後に行われたワークショップでは、地域で遺産を守っていこうという意識の強さに感銘を受けたことや、町並みを修景・修復するための人材養成が重要であること、考古遺跡の発掘調査は遺跡の破壊にもつながるため、調査と破壊のバランスを十分に検討する必要があることなどの指摘をいただきました。



第37回 ユネスコ世界遺産委員会に 県の担当者がオブザーバー参加

カンボジア王国の首都プノンペンにて6月16日(日)から27日(木)に開催された世界遺産委員会は、富士山の世界文化遺産リストへの「記載」決定の動向が注目されました。

委員会では、ユネスコの遺跡保存に関する諮問機関であるICOMOSが個々の世界遺産候補について評価結果を示し、これに基づいて委員国が議論し決議を行いました。今年は富士山を含めて19件の新規と3件の拡大案件が「記載」となりましたが、中には候補



の遺跡の価値を巡って長時間にわたる重く激しい議論もありました。

委員会の会期の多くは、既に世界遺産リストに記載されている遺跡の保存管理状況についての報告や議論にあてられました。

世界遺産は登録されて終わりではなく、その後継続的に保存・管理状況についての審査を受けなければならないということを再認識しました。世界遺産委員会の審議のプロセス、内容を確認できたと同時に、遺跡の価値や魅力をいかに世界に発信し、保存管理していくかが問われるのだと実感しました。

「自由民主党新潟県選出国會議員連盟」設立

佐渡金銀山世界遺産登録実現に向けた国民への啓発、国などの関係機関への働きかけを行うため、自由民主党新潟県選出国會議員による「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連盟（以下「議連」）が設立され、5月13日(月)に東京の同党本部で設立総会が開かれました。

当日は、同党國會議員全10名（代理含む）、高井県教育長、甲斐佐渡市長らが出席し、水落敏栄参議院議員が議連会長に選出されたほか、平成29年度の登録を目標に、県・佐渡市と連携して活動することなどが確認されました。

当日は、国からも文化庁石野文化財部長ほか2名が出席され、全面的な協力を約束するなど有意義な会合となりました。また、9月19日(木)～20日(金)には、同議連のメンバーが来島され、現地視察が行われました。



「親子で歩く佐渡金銀山（相川編）」を開催しました

6月9日(日)、「親子で歩く佐渡金銀山（相川編）」を開催しました。

参加した小学生とその保護者50名は、3つの班に分かれ、佐渡金山第3駐車場から北沢地区までを、相川ふれあいガイドの説明を受けながら散策しました。

途中、旧相川拘置支所や佐渡奉行所の内部見学もあり、相川金銀山についての知識を広げる約1.5kmの行程を3時間半かけて歩きました。



佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた決議を行う —新潟商工会議所—

新潟商工会議所では7月22日の常議員会において、佐渡金銀山の世界遺産登録の早期実現を後押しするための決議を行いました。

佐渡金銀山の世界遺産登録実現に向けては、現在新潟県と佐渡市を中心に、様々な取組が行われています。

同所では、登録実現に向けて佐渡島内はもちろん、佐渡への玄関口となる本土側の盛り上がりや官民一体となった取組が重要だと捉え、以下の3点について決議されました。



- ①. 佐渡金銀山の価値保全および世界遺産登録に向けた意識啓発・PR活動、調査・研究活動等の実施
- ②. 行政ならびに「佐渡を世界遺産にする新潟の会」など各種推進団体の活動に対する支援・協力
- ③. 全県挙げての推進活動に繋げるための各地商工会議所をはじめとする県内経済団体等への機運醸成に向けた働きかけ

感想文



両津吉井小学校1年

市橋 臨君

おやこであるくさどきんぎんさんにさんかして、せつめいをききながらたくさんあるきました。

むかしまちがあったところは、いまではいっぱいきがはえていました。

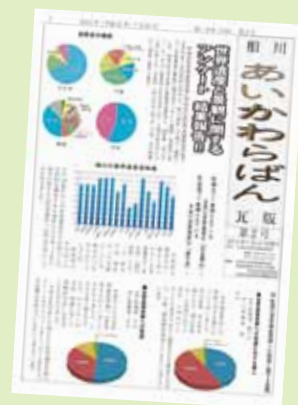
さどがきょうしよでは、いしうすをまわしてたのしかったです。

世界遺産 座談会

平成25年度より、世界遺産登録に向けての町並み保存の検討のため、相川市街地にお住まいの皆さんを対象とした座談会を開催しています。

これまで、4月と8月の計2回の座談会を開催し、世界遺産登録に対する応援の声が聞かれる一方で、規制や観光客増加に対する不安や、空家対策、修理修景への支援策などの要望も出されました。

今後も継続して座談会を実施し、地域の方々の要望への対応を検討するとともに、座談会の様子については、2ヵ月に1度発行予定の「あいかわらばん」(5/25号、7/25号発行済)を通じて皆さまにお伝えしていきますので、ご支援をよろしくお願いいたします。



「あいかわらばん (相川瓦版)」発行

鉾山都市相川の歴史を活かしたまちづくりの情報をまとめた、「あいかわらばん」を発行しました。世界遺産登録に向けた町並み保存に関する座談会の様子や、相川にお住まいの方に回答していただいた、まちづくりに関するアンケート結果などをご紹介しています。また、瓦版では相川のまちに対する皆さまの声も募集しています。これまでに発行した瓦版は、佐渡市のホームページでご覧いただけます。ご感想・ご意見をお聞かせください。



第1回 相川第2分団座談会 (H25.4.10)

「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」案内解説板設置

新潟県で初めて国の重要文化的景観に選定された「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」の中心的集落である笹川集落において、砂金山の遺跡と閉山後の生活の様子を伝える案内解説板を設置しました。

デザインは案山子をイメージした親しみやすいもので、解説文や設置場所については、地元の「笹川の景観を守る会」メンバーと、これからの集落の在り方も含めた議論の中で進められました。

今後は、案内誘導サインの増設や案内マップの作製などを通じ、地元の方々の生活を最優先しながら観光客の受け入れ体制の整備を行っていく予定です。



案内解説板設置の様子▶

東京
Tokyo首都圏向け
佐渡金銀山世界遺産講演会を開催

平成25年7月7日(日)スクワール麹町(東京都千代田区)において、佐渡金銀山世界遺産講演会を開催しました。当日は猛暑の中、首都圏在住の佐渡出身者を中心とする245名が参集しました。新潟県文化行政課世界遺産登録推進室の北村亮室長の講演後、狩野泰一氏が篠笛で「朱鷺の舞」、「雪割草」

等を演奏し、「金山節」を来場者とともに熱唱しました。さらに宮田亮平氏(東京藝術大学学長)や南加乃子氏(株式会社新潟放送報道制作局専門局次長)らによる鼎談では、今年1月に新潟県内で放映された佐渡金銀山の番組で絵巻や資料を元に



番組で製作した小判の展示の様子

実際に小判を製作した際の体験談、宮田学長が佐渡高校生とともにいった小判の表面から銀を抜き山吹色に仕上げる色揚げの再現実験、江戸時代に佐渡で作られた小判が東インド会社によって長崎〜出島〜インド〜オランダに渡ったことなど、佐渡弁を交えながら語り合い、会場は大いに盛り上がりました。

上越市
Joetsu

上越市にて佐渡金銀山世界遺産講演会開催

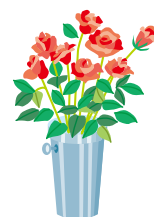
平成25年6月2日(日)、上越文化会館にて、佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて、全県的な気運醸成のため、佐渡金銀山の魅力や世界遺産を核とした地域づくりをテーマに、佐渡金銀山世界遺産講演会を開催しました。上越市在住の方を中心とする約100名が熱心に聴講されました。

初めに、県文化行政課世界遺産登録推進室参与の吉田博が、世界遺産の概要や新たな佐渡金銀山の価値、世界遺産までの道のりについて講演しました。



続いて、(株)東北地域環境研究室代表の志賀秀一氏から、これからの地域づくりには他地域との連携の強化による交流人口の拡大が重要な戦略であること、平泉での取組から学ぶ世界遺産登録の意義、仙台と平泉との連携事例などについて御講演いただきました。

佐渡だけではなく、全県の皆様から応援団になっていただくよう今後も活動を行っていきます。



世界遺産 連続講座

新潟会場

平成25年度の世界遺産連続講座は、5月26日(日)からスタートしました。

第1回は、佐渡市の調査担当職員2名が、それぞれ「相川金銀山と鉱山集落―上相川の調査事例から―」、「佐渡金山遺跡(上寺町地区)の分布調査成果について」と題し、最新の調査成果について報告しました。第2回は、奈良文化財研究所文化遺産部景観研究室の恵谷浩子研究員より文化的景観とは何か、相川の個性、相川での文化的景観の取組についてご講演いただきました。第3回目は、新潟大学旭町学術資料展示館長・人文学部教授の橋本博文氏から「佐渡金銀山に関連する浮世絵・絵図・鉱山模型をめぐって」と題し、佐渡金銀山に関する浮世絵の元図となる図の存在があること、鉱山模型の比較研究の取組等についてご講演いただきました。

これらの講座の詳細は、新潟県の世界遺産登録推進室ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



佐渡会場

佐渡会場では、6月22日(土)、7月21日(日)、8月4日(日)に開催しました。

1回目は、松江工業高等専門学校教授の久間英樹氏が「遠隔操作ロボットを用いた鉱山坑道探査」と題し、ロボットが撮影した鶴子銀山の坑道内部の様子と、実際のロボットを使い、構造・操作等の説明をしました。

2回目は、国立科学博物館の鈴木一義氏による「鉱山絵巻に見る佐渡金銀山の鉱山技術」のご講演でした。現存する絵巻と、そこに描写されている採金方法について、わかりやすくお話ししていただきました。

最終回は、元日本大学理工学部特任教授の伊東孝氏の「産業土木遺産と佐渡の金銀山」についてのお話でした。ご自身と、佐渡との関わりを織り交ぜながらの講演は、非常に親しみやすいものでした。



台湾での国際会議に参加して

「観光と文化遺産の変わりゆく価値」というテーマでイギリスのバーミンガム大学と国立台湾大学が共催して、平成25年4月に台北市で国際会議が開催され、県の担当者が出席しました。会場の中正紀念堂は蒋介石総統を記念する巨大な建物です。

現在、世界遺産については、巨大な物、美しい物を単に大勢の人に見せればいいという考え方から、それを意義のある観光に結びつけなければ、遺産としての価値は損なわれていくという考え方が主流になりつ

つあります。佐渡の鉱山遺跡も、観光客にとって見る価値のある遺跡にし、次代を担う子どもたちにとって語り継ぐ価値のある遺跡としなければなりません。遺跡の解釈の仕方、見せ方の工夫が世界各地で行われている事例を聞いて、まだまだ佐渡には行すべきことがあると感じたものでした。また、こうした国際会議を通じて世界の関係者と知り合い、知見を広め、佐渡を紹介できたことも大いに意義のあることでした。



平成25年度

今後のイベント情報

※詳細は、チラシやホームページ、市報、CNS等でお知らせします。

■新潟港発着佐渡金銀山の近代化遺産と相川京町通りを散策する日帰りツアー

主催：新潟県教育委員会・佐渡市他

- ◆日時：平成25年10月26日(土)
- ◆場所：佐渡金山、京町通り、北沢浮遊選鉱場跡等
佐渡鉱山の遺跡群や郷土芸能などをガイドの説明を聞きながら見学(有料)
- ◆申込先：新潟交通㈱ Tel:025-271-6266



■遺跡現地説明会

主催：佐渡市

- ◆日時：平成25年10月27日(日) 9:30~11:00、14:00~15:30(予定)
- ◆場所：佐渡金山遺跡 上寺町地区
昨年度実施した分布調査を担当者が現地で説明
- ◆問い合わせ先：佐渡市世界遺産推進課



■世界遺産国際シンポジウム 「佐渡金銀山遺跡の世界遺産登録を目指して」

主催：文化庁・新潟県教育委員会・佐渡市

- ◆日時：平成25年11月10日(日) 13:00~17:00
- ◆場所：朱鷺メッセ 国際会議場マリンホール(新潟市中央区万代島6-1)
- ◆プログラム「国際専門家会議(第12回学術委員会)報告」小風秀雄 学術委員会委員長
基調講演①「佐渡金銀山の顕著な普遍的価値とは何か」クリストファー・ヤング氏(イングリッシュ・ヘリテージ世界遺産・国際政策責任者)
〃 ②「世界文化遺産登録の近年の状況」西村 幸夫 学術委員会委員(東京大学先端科学技術研究センター所長)
パネルディスカッション「佐渡金銀山 世界遺産登録への課題」
コーディネーター 篠原 修 学術委員会委員
パネリスト 郭 旃氏(ICOMOS 副委員長、中国ICOMOS 副委員長)、クリストファー・ヤング氏、岡田 保良 学術委員会委員(国土大学イラク古代文化研究所教授)、西村 幸夫 学術委員会委員
- ◆定員：300名 ※日英同時通訳つき 入場無料 要事前申込 申込期間：10/1~11/8
- ◆お問い合わせ・申込先：新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室
電話・FAX・Eメールでお申し込みください。

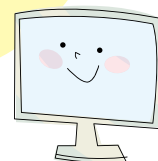


「お茶で
新潟を美しく。」
キャンペーン
(株)伊藤園

(株)伊藤園では、7月1日~9月30日まで「お茶で新潟を美しく。」キャンペーンにより、期間中の同社「おーいお茶」飲料売上の一部を県の世界遺産登録事業へ寄付、県内量販店での応援チラシ掲示、社員の現地清掃など、佐渡金銀山の世界遺産登録を支援する活動を行っています。登録に向けた協力の輪は着実に広まっています。詳細は同社ホームページ(<http://www.itoen.co.jp>)をご覧ください。

Facebookを
開設しています。

県文化行政課世界遺産登録推進室では、イベントのお知らせ、視察報告等をフェイスブックで紹介しています。
<https://www.facebook.com/SadoGoldMine>



新潟県・佐渡市

新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 Tel:025-280-5726
Fax:025-284-9396 E-mail: ngt500080@pref.niigata.lg.jp
HP: <http://www.pref.niigata.lg.jp/bunkagyosei/1196266594688.html>

佐渡市世界遺産推進課 Tel:0259-63-5136
E-mail: k-goldmine@city.sado.niigata.jp

HP: <http://www.city.sado.niigata.jp/mine/index.html>

平成25年9月30日発行